

第2号

浜名高校だより

～風をとらえて～
Take Wing!

編集発行

静岡県立浜名高等学校

2023年11月

浜松市浜北区西美蘭2939-1

電話 (053)586-3155

http://www.edu.pref.shizuoka.jp/
hamana-h/home.nsf

Web体験



学校HP

学校案内もぜひご覧ください！



◀学校案内web版

浜名高校は体育大会も生徒が主体となり、様々な競技やパフォーマンスをするのでとても盛り上がっています。

ぜひ中学生のみなさんも浜名高校に入学し、一緒に行事を楽しみましょう！

こんにちは。浜名高校生徒会長の小野功騎です。僕は生徒会に所属していて、主に文化祭の運営を担当しています。

浜名高校の文化祭では、一年生のビックパネル、文化部やHRごとの展示などを行っています。今年度から一般公開も再開したので、生徒だけでなく一般の方々も楽しそうにしていたのが印象的でした。

生徒会長
27HR 小野 功騎(北浜中)



生徒会メンバー

浜名高校の魅力

快挙!!

全国高等学校社会科学・
郷土研究発表大会

最優秀賞受賞

全国大会を通して

27HR 成田 琉良(北浜中)

私たち史学部は全国大会に出場し、最優秀賞を頂きました。調査に協力して下さった現地の方々や、資料をくださった施設の方々、指導をして下さった先生方、そして浜名高校のみなさんのおかげで、私たちの住む天竜川下流域での昔の人たちの防災や暮らしの知恵を探究することができました。これからも「歩け、見よ、聞け」の精神で研究に励んでいきたいと思っています。



史学部ってどんな活動をしているの？

郷土研究を中心に、地域の歴史や自然、生活文化など、歴史学的視点や地理学的視点など広く社会科的視点にもとづいた幅広い地域研究を行っています。部訓である「歩け、聞け、見よ」のもと、五感を大切にフィールドワークを重視した研究活動に励んでいます。



フィールドワークの様子

祝 出場 決定!!

令和5年度特別国民体育大会
「燃ゆる感動かごしま国体」

◆陸上競技部

31HR 森川 皓喜(北浜中)

15HR 中根永令奈(鹿玉中)

◆剣道部

32HR 藤江 宥心(北浜東中)

第54回U-16 陸上競技大会

15HR 中根永令奈(鹿玉中)

第44回JSCA

ブロック対抗水泳競技大会

28HR 鶴田虎太郎(浜名中)

東海シングルス

ソフトテニス選手権大会

29HR 南谷 天翔(浜名中)



美術部

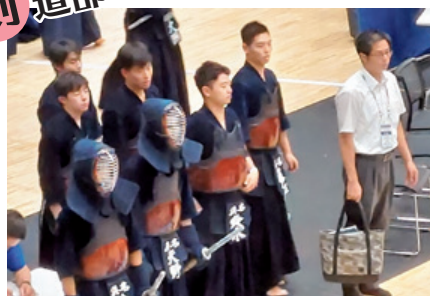
書道部



水泳部



剣道部



男子ソフトテニス部

夏のインターハイ
総文祭などの報告は
次のページへ！



令和五年度全国高等学校総合体育大会

翔び立て若き翼

北海道総体2023

男子ソフトテニス部

35 HR 鈴木 絆生(浜名中)

僕はこの夏、北海道で行われたインターハイに出場しました。各都道府県の有名選手がそこら中にいたので緊張しました。
僕らのペアは、一回戦は勝利し、二回戦で優勝ペアに負けました。
貴重な経験をさせていただいたことを、先生や浜名高校に感謝して今後の自信につなげていきたいです。



陸上競技部

21 HR 池谷 舜(積志中)

東海、全国と僕にとって夢の舞台であり、それを自分の目で見る事ができた。そこで学んだものをチームに持ち帰った。新入戦ではこれまでの過酷な練習を乗り越えたこともあり自信がついた浜名はベストを尽くす走りができた。個人、リレーと選手全員で県、東海と上を目指し、来年の総体に向けての通過点として取り組んでいきたい。



剣道部

32 HR 藤江 宥心(北浜東部中)

剣道部は文武両道を目指しています。両方を本気で求めている環境があります。今年のインターハイはベスト八でした。日本一になれなかった悔しさはありますが、強豪校に勝ち、ここまでこれたことは一生の財産になりました。今は、先輩たちが伝統を受け継いで日本一を目指して頑張っています。多くの方々に支えていただき、常に最高の環境で剣道に打ち込めたことに感謝しています。次は大学で日本一を取ります。



水泳部

32 HR 宮津 優羽(新居中)

私は今回、目標だった個人種目でインターハイに出場することができました。全国の壁は予想以上に高く、実力が及ばなかったことはとても悔しかったです。一方、トップの選手のレベルを肌で感じ、刺激を受けて今後の原動力になったことで充実した大会になりました。今後はこの経験を活かし、更なる高みを目指して頑張ります。



東海吹奏楽コンクール

第47回全国高等学校総合文化祭

2023 かごしま総文

美術部

全国展での交流

36 HR 松本 愛衣(新津中)

私は全国大会に出展し、同じく作品を出展していた人達との交流を通して多くのことを学びました。交流での互いの作品についての発表では、その作品について深く知るとともに自分にはない絵に対する向き合い方であったり描き方だったりを新たに発見することができました。新たに学んだことをこれからの自分の作品に活かしたいです。



松本愛衣「照らす」

書道部

全国大会から学んだこと

34 HR 平河 菜々(天竜中)

全国から集まった様々な作品を鑑賞して、全国レベルの高い技術や表現力を学ぶことができました。
また、交流会では参加者らと、自分自身の作品の工夫を紹介しあつて、作品に対する理解をいっそう深めることができました。

この貴重な経験を通して学んだことを今後に活かしていきます。



25 HR 内山 權(三方原中)

私たち吹奏楽部は八月二六日に行われた東海大会に出場しました。今年もやはりコロナウイルスの影響で練習が思うようにできないこともありましたが、そんな中でもみんなで工夫しながら日々奮闘してきました。大会の結果は銀賞で、目標としていた全国大会には届きませんでしたが、今回の経験を通して一人一人が大きく成長できました。





応援の中心となった応援委員の皆さん

野球応援

7月16日(日)
於・富士球場

二回戦で三島南高校と対戦しました。

今回の大会から声を出しての応援が可能となり、生徒たちの応援も大盛り上がりでした。結果は残念ながら七対九で負けてしまいましたが、思い出に残る試合となりました。

体育大会

九月二十日、二十一日実施予定でしたが九月二十一日実施分が十月に延期になりました。

今回は九月二十日に行われた長縄大会の様子と昨年度の体育大会の様子をお伝えします。

文化祭の次に盛り上がる体育大会。あなたは何色の団になるでしょう!?



円陣を組んで気合いを入れます!

昨年度の体育大会の様子



特別企画 特進クラス紹介

特別企画 特進クラス紹介

参加者

18 HR 築地 夢唯さん
史学部 北浜中出身

18 HR 若松 卓真さん
囲碁将棋部 豊岡中出身

19 HR 金沢 祥汰さん
水泳部 北浜中出身

19 HR 細田 花さん
ダンス部 北浜中出身

——特進クラスを選んだ理由は?

(細田以下H) 国公立大学を目指しているからです。(若松以下W) 他の高校と迷っていたのですが、実際に見学に来たら「やっぱり、浜名の特進が良い」となりました。あとは、元々兄が通っていたので小さい頃から知っていたのも大きいです。

(築地以下T) 大学進学を考えたときに、普通クラスよりも特進クラスの方が勉強量が多いし、適しているなと考えて選びました。

——なるほど、目標があったんですね。



(金沢以下K) 実は、自分にはあまり勉強が得意と思っていなくて、周囲から強く勧められて、それで特進クラスを決めました。

——実際の特進クラスはどうですか?

(W) 入学前は勉強ばかりってイメージでしたが、けれど行事も部活も頑張れるので、良いクラスだなんて感じてます。

(T) 正直に言うとう、勉強している人としての違いの差はあります。朝学習への取り組み方とか(二回) あーあるある(賛同)

——勧められて入ってみてどうでした?

(K) 課外とかのお陰で、授業以上のことを学べるのがすごく良いなと思っています。

——朝学習はどのように取り組んでいますか?

*朝学習:七時五十分から始まる自主学習。

月・水・金は国語・数学・英語に取り組む。

(W) 朝学習の使い方はかなり人それぞれだと思ってます。自分は数学が好きで気づくとそればかりやってちゃう。

——完全に自習ではなくて教科が決まっている曜日があるけれど、実際はどう?

(W) 決まっていますが良いかなと思います。

(T) 教科が決まっているとバランスは良くできるかと思えますね。

(K) 僕は全部自由でもいいと思う。「やらされている」という雰囲気もなくなるし。

(H) 私も自由でもいいんじゃないかなと思います。前日に終わらなかつた勉強とかに取り組みめるので。

——朝学習、課外というのがありますが、部活動との両立はどうですか?

(K) 僕は水泳部で平日は毎日部活です。土日も練習があるときもありま

(H) ダンス部は週三回の活動なのですが、ちょうど良いなと感じています。勉強の時間もとれるし、部活も楽しめるし(笑顔)

(T) 史学部は週二回くらいは活動です。私は自分の生活リズムを整えたので、寝る時間を決めて、それまでに集中して勉強しています。

——課題とか小テストとかの勉強はどうしていますか?

(W) 結構 隙間時間にささっと取り組んでしまうので学校にいる間に終わっちゃうんです。

(二回) (頷き)

——最後になりますが、

(T) 疲れて授業寝ちゃったかもしれないもね

——皆さん、ありがとうございます!

中学生の皆さん、特進クラスの雰囲気伝わったでしょうか。



特進クラスを考えている中学生に何かアドバイスをお願いします。

(T) 特進クラスだからってがっつり勉強ばかりではないのは確かです。

(W) 普通クラスよりちよつと多く学校にいるというイメージ。

(K) 勉強をさせられる、というイメージがあるかもしれないけれどそうではないですね。

(H) 特進クラスは「勉強しよう」って思う子が多いから勉強する環境はすごく良い。

(T) 長い時間一緒にいる分クラスのつながりは強いんじゃないかなって思います。

(K) 部活も頑張りたい人は、部活と勉強を計画的にこなす必要があるから、そこはある程度覚悟する必要があります。

(T) 疲れて授業寝ちゃったかもしれないもね

——皆さん、ありがとうございます!

中学生の皆さん、特進クラスの雰囲気伝わったでしょうか。

中学生の皆さん、特進クラスの雰囲気伝わったでしょうか。

中学生の皆さん、特進クラスの雰囲気伝わったでしょうか。

中学生の皆さん、特進クラスの雰囲気伝わったでしょうか。

中学生の皆さん、特進クラスの雰囲気伝わったでしょうか。

中学生の皆さん、特進クラスの雰囲気伝わったでしょうか。

中学生の皆さん、特進クラスの雰囲気伝わったでしょうか。

進路実現に向けて



浜名高校で自分の真の実力を開花させよう。

昨年度の国立公立大学合格者は現役生64名、過年度生2名の合計66名です。地元の静岡大学の16名をはじめ、県内の国立大学には28名の現役生が合格しました。

私立大学は現役だけでなく、965名です。難関校である慶應義塾、東京理科大学、明治、中央、法政、学習院、青山学院、南山、同志社立命館、関西大学等にも合格しています。地元は常葉大学、聖隷クリストファー大学にも多くの生徒が合格しました。

今年度の三年生も多くの生徒が四年制大学への進学を希望して、頑張っています。学力面で中学時代に実力が十分発揮できなかつた生徒が高校でその実力を発揮できるようになり、希望の進路を実現した生徒も多数います。皆さんも、本校で実力を最大限に発揮して、自分の進路目標を実現しましょう。

特進クラスを大改革
昨年度の四年制大学への進学者は279名で、卒業生の78%になります。短期大学や専門学校を含めた上級学校への進学希望者の比率は約96%でした。進学体制をより強化するため特進クラスを設置しております。特進クラスは、より高いレベルの大学進学を目指す生徒を育てることを目的とし、

二年次以降は理系・文系それぞれに設けられています。今までは、入部できる部活動に制限がありましたが、令和六年度の新入生から文武両道を目指したいという生徒の実態に合わせて、部活動の制限を撤廃しました。希望と入試成績をもとにクラス編成を行います。英数の科目を中心とした少人数での授業の中で、これからの社会に必要な「思考力・判断力」を養うことができます。高いレベルでのグループ活動やディスカッションに積極的に参加することで「自分の考えを表現して言葉や文章でまとめる力」を鍛えていくことができます。

放課後は部活があるという生徒のためには、朝学習の時間を設定しています。原則として毎日七時五十分からのわずか二五分間ですが、継続して取り組むことで知らず知らずのうちに実力をつけることができます。

ほぼ毎週土曜日を、三年生に対して学校開放しています。模試のために来る場合もありますが、自主学习のために多くの生徒が来て勉強しています。

一・二年生に向けて、月に一、二回土曜課外を実施しています。さらに、定期テスト前には、担当教員に質問をしたりすることができるよう土曜開放が行われます。

映像授業であるスタディサプリにも学年全員が登録しています。SNSを利用して、授業の復習や応用問題、英検対策、就職や入試の面接対策等を家や学校等で必要に応じて活用しています。

大学受験には、総合型選抜・学校推薦型選抜・一般選抜があります。自分に合った選抜方法を選ぶことが大切ですが、どの選抜方法でも一定の学力は必要とされます。また、大学に合格するだけでなく、進学後に自分が望む職業につけるような力を浜名高校で最低限つけて卒業して欲しいと考えています。そのためのサポート体制も充実しています。

放課後には、木曜日を中心に、一・二年生は英数国を、三年生は五教科で課外授業を実施しています。

様々な映像授業を受講することができます。また、英語の四技能の力をつけるために、スタディフォアイングリッシュにも加盟し、いつでもどこでも英語学習ができる環境を提供しています。

また、外部模擬試験として、一年生で三回、二年生四回、三年生で十回の模試を実施しています。こうした十分な対策を取って三年生での本番を迎えています。

丁寧な就職指導
本校の進路指導は進学指導が中心ですが、少ない就職希望者に対しても入社試験に向け、入念に就職指導を行っています。昨年度も希望者全員が卒業までに内定を得ました。また、公務員試験の合格者も多く、静岡県職員（行政・警察）や市役所消防等に最近では合格しています。

4年部長 鈴木 歩
1 試合目はなかなか点数が入らず、自分のファールも重なり、苦しい場面がありました。自分の強みであるリバウンドでチームを救えると考え、一生懸命ゴール下で体を張りました。リバウンドをとることで得点のチャンスは何度も作ることができたことが良かったです。2 試合目は負けが込んでしまいましたが、リバウンドをとることで得点のチャンスは何度も作ることができたことが良かったです。3 年間全国の舞台で試合をすることができて、一番大切だと思ったことはチームワークです。日頃の練習から仲間と高めあい、試合中苦しい場面を迎えてもお互いに励ましあうことが自分たちの良いプレーを引き出すことにつながっていると学ぶことができました。

陸上競技部
8月に行われた全国大会に、カワベジサムさん（男子走高跳）、ランゾユミさん（女子走高跳）が出場しました。カワベジサムさんは昨年度の大会で優勝しており、昨年度の自分を越えようと意気込んで臨んだ全国大会でした。予選を突破し、決勝では、1回1回の試技を大切に跳び続けましたが、第5位（記録1m68cm）という結果となりました。ランゾユミさんは予選はなく、決勝から出場しました。ランゾユミさんは、1年生で初めての全国大会でありましたが、堂々とした跳躍をみせ、1m37cmという記録を取りました。3位と同率の記録ですが、試技数により第5位という結果となりました。2名とも全国大会という舞台で緊張感もある中、堂々とした跳躍をみせてくれました。

令和4年度大学進学結果（現役）			
○合格者の多い私立大学（のべ数）		○難関大学	
大 学 名	合格数	大 学 名	合格数
常 葉 大	190	立 命 館 大	12
愛 知 大	116	南 海 大	9
静 岡 理 工 大	51	中 央 大	6
聖隷クリストファー大	47	同 志 社 大	3
愛 知 学 院 大	36	青 山 学 院 大	3
中 部 大	35	明 治 大	2
名 城 大	34	東 京 理 工 大	2
龍 谷 大	28	関 西 大	2
愛 知 淑 徳 大	24		
中 京 大	22		
龍 谷 大	21		
○進路別実数			
	令和4年度卒	令和3年度卒	令和2年度卒
国 公 立 大	57	58	35
私 立 大	222	228	249
短 大	14	10	12
専 門 学 校	52	46	46
就 職	5	7	8

浜名高校定時制の課程

●全国高等学校定時制体育大会出場 男子バスケットボール部

私たち男子バスケットボール部は8月に6大会連続で全国大会に出場しました。試合では、ファールが重なり苦しんだ場面もありましたが、粘り強いディフェンスとスピードやパワーのあるプレーが光っていました。2戦目で惜しくも敗退しましたが、試合終了のブザーが鳴るまであきらめない姿をみて、下級生は「また全国に出場して勝ち上がりたい」と感じたのではないかと思います。

日頃の練習では、時間が少ない中、体力づくりや基礎練習も練習に組み込んでいます。練習の最後には50分を走り、お互いに刺激しあう高めのあつています。どんな試合でも心から楽しんでプレーをしているところが浜名高校定時制バスケットボール部の強みです。

●浜名 60-48 秋田県立秋田明徳館高等学校
●浜名 46-66 新潟県立佐渡相川分校（今年度優勝校）

4年部長 鈴木 歩

1 試合目はなかなか点数が入らず、自分のファールも重なり、苦しい場面がありました。自分の強みであるリバウンドでチームを救えると考え、一生懸命ゴール下で体を張りました。リバウンドをとることで得点のチャンスは何度も作ることができたことが良かったです。2 試合目は負けが込んでしまいましたが、リバウンドをとることで得点のチャンスは何度も作ることができたことが良かったです。3 年間全国の舞台で試合をすることができて、一番大切だと思ったことはチームワークです。日頃の練習から仲間と高めあい、試合中苦しい場面を迎えてもお互いに励ましあうことが自分たちの良いプレーを引き出すことにつながっていると学ぶことができました。

陸上競技部

8月に行われた全国大会に、カワベジサムさん（男子走高跳）、ランゾユミさん（女子走高跳）が出場しました。カワベジサムさんは昨年度の大会で優勝しており、昨年度の自分を越えようと意気込んで臨んだ全国大会でした。予選を突破し、決勝では、1回1回の試技を大切に跳び続けましたが、第5位（記録1m68cm）という結果となりました。ランゾユミさんは予選はなく、決勝から出場しました。ランゾユミさんは、1年生で初めての全国大会でありましたが、堂々とした跳躍をみせ、1m37cmという記録を取りました。3位と同率の記録ですが、試技数により第5位という結果となりました。2名とも全国大会という舞台で緊張感もある中、堂々とした跳躍をみせてくれました。

4年 カワベジサム

全国大会では、まわりの跳躍力のある選手と、もう少し勝負ができたのではないかと考えたので、とても悔しかったです。2年間、陸上の全国大会に出場して感じたことは、ずっと続けてきた陸上がとても大好きだということです。高校の陸上部での活動は終わってしまいましたが、自分の好きなことを一生懸命取り組みたいことはとてもよかったです。後輩たちも練習にあまり時間をかけることができないと思いますが、集中して練習に取り組んでほしいです。

1年 ランゾユミ

全国大会は正直とても緊張していました。結果としては自己記録を越えることができませんでした。最初から跳べないと思わずに自信をもつことの大切さと、諦めずに挑戦することの大切さを学びました。来年度も全国大会に出場し、今年度の記録を越え、表彰台にあがりたいです。そのためには、まずは県大会から良い成績を収められるように頑張ります。



女子走高跳 第5位 男子走高跳 第5位

●生活体験文 西部発表会

今回の生活体験発表会西部大会では、生徒の大会に対する意識の高さを強く感じました。今回大会に参加した3年の馬淵まりえさん、4年のベルナルデスミナミさん両名とも自分の発表直前まで「緊張する」と言葉を漏らしていましたが、いざ発表となると2人とも堂々と最後まで自分の思いを審査員である管理職の先生方を含めた聴衆に届け、丁寧な礼で発表を締めくくっていました。

3年の馬淵まりえさんは個人の部の優秀賞に選ばれたことで県大会への出場が決まり、浜名高校として団体の部の優秀賞を受賞することもできました。二人の努力が報われる形で西部大会を締めくくることができました。

3年 馬淵まりえ

他校の代表の発表を聞いていた間、とても緊張していました。自分の発表では堂々と発表することができました。一番伝えたいと思っていたところは暗記をして、聞いてくれる人の目を見ながら伝えることができました。



ICTを導入した授業

本校定時制では、生徒全員が授業でiPadを積極的に活用しています。ICT周辺の機器の充実も図っています。外国にルーツを持つ生徒が多いので、生徒たちは「翻訳アプリ」や「漢字アプリ」などを授業中に必要に応じて使い、基礎学力定着に努めています。ある授業ではアプリを活用し、授業内容の復習や練習問題などにより授業の振り返りを行っています。

